

# 橋下政治 8年

▷上<

2008年2月の大阪府知事就任から約8年間。橋下徹氏は「今の日本の政治で一番重要なのは独裁。独裁といわれるくらいのだ」(2011年6月の政治資金パーティ)と自ら言うように、他府県ではみられないような異質で危険な府・市政を行ってきました。

## 違憲の思想調査



大阪地裁で「違憲」と断罪された思想調査アンケート  
11月30日、大阪市

憲法違反の「思想調査」です。市長選で市の幹部職員や労働組合員が違法な選挙活動をしているという捏造(ねつぞう)の情報をもとに実態を調査するとして、労働組合への参加や特定候補の演説会などへの参加の有無、誰に誘われたかなどを問うものです。橋下市長の業務命令として回答を強要し、正確に答えなければ処分もあり得ると脅しました。全国からの批判の高まりや府労働委員会の中止勧告をうけ、データは廃棄されましたが、橋下氏はいまだにひとことも謝罪していません。知事時代には、自らが代表を務める大阪維新の会が11年4月の府議選で過半数を獲得し、その直後の5月議会で公約にもなかった「君が代」強制条例案を議員提案。ろくに審議もせず事実上の単独可決を強行しました。さらに議員定数を2割減らし、1〜2人

## 異質で危険

# “大阪市をつぶせ”

2008年2月	知事就任
2010年1月	「大阪都」構想表明
4月	地域政党「大阪維新の会」発足
2011年4月	いっせい地方選で維新が府議会で過半数、大阪・堺両市議会で第1党
10月	知事辞職
11月	ダブル選で知事に松井一郎氏、市長に橋下氏当選
12月	大阪市長に就任
2012年2月	「思想調査」実施
2014年3月	出直し市長選に出馬・再選
2015年5月	「大阪都」構想住民投票で否決、橋下氏「政界引退」表明
11月	ダブル選で知事に松井氏再選、市長に吉村洋文氏初当選

## 独裁必要と放言

「君が代」については国も強制してはならないとしているにもかかわらず橋下氏は「やらないなら公務員をやめてもらう」と言い放ちました。「政治に必要なのは独裁」と言ったのはこのあとです。

「独裁」の行きつく先は「一人の指揮官」に権力を集中させる「大阪都」構想です。知事時代に平松邦夫市長(当時)と府市統合、「一人の指揮官」、インフラ整備などで意見がかみあわず、思い通りにならないとみるや「市をつぶし、権限、財源をむしり取る」と叫び、知事を辞職して11年11月27日投票の市長選に出馬。市長として自ら大阪

これに加え、松井一郎知事、橋下市長のもとで「懲罰」と「処分」の恐怖によって知事・市長いいなりの職員をつくる「職員基本条例」、政治活動を国家公務員なみに制限する「政治活動制限条例」を相次いで制定。教育の分野で

も教育に政治が介入する「教育基本条例」をそれぞれで制定しました。

「大阪都」構想住民投票で否決、橋下氏「政界引退」表明  
ダブル選で知事に松井氏再選、市長に吉村洋文氏初当選

(つづく)